

年頭のごあいさつ



茨城県知事
茨城県統計協会総裁

竹内藤男

新春にあたり、謹んで皆様方のますますのご健勝とご活躍を、心からお祈り申し上げます。

去年は、昭和50年代を締めくくる年にふさわしく、射爆場跡地利用の中核となる常陸海浜公園や霞ヶ浦導水事業の着工、常磐自動車道の水戸インターチェンジまでの開通、そして科学万博の関連事業など県土発展の土台となる事業が着々と進展しており、筑波メディカルセンターや県立こども病院の建設、県立高校の整備など県民の生活をさらに豊かにし、その質を高める施策も順調に進めることができました。

ここに、皆様方の温かいご支援、ご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

さて、本年は、昭和60年代の幕開けであり、本県の長い歴史の中でも大きな転換を迎える重要な年があります。3月17日から6ヵ月間筑波研究学園都市で国際科学技術博覧会が開催されますが、この博覧会は、国際化や情報化社会への移行が進む我国が、技術立国への道をたどる中で、本県が重要な位置を占めていくための契機となる国家的意義をもつ催しであります。そして、それは同時に、茨城のイメージアップを図り、県民の意欲を高め、飛躍の発展を促す跳躍台となるものであり、開催地元県として、県民の総力を結集し、是非とも成功させる決意であります。

昭和60年代は、技術開発を中心とした新しい時代へ移行する年代であります。幸い本県は、首都東京や成田の国際空港に近いなど、国際化、情報化社会の中で有利な地理的条件を有しております。さらに、日立や鹿島などの産業技術の集積に加え、筑波研究学園都市や原子力関連施設など21世紀の科学技術を支える大きな集積を有しており、これからの時代をリードする条件を十分に備えております。

私はこのような有利な条件を具体的に引き出し、本県の発展を確実なものとするため、これまでも発展基盤の整備に力を入れて取り組んでまいりましたが、さらに、60年代は、科学技術の時代に対応できる条件の整備についても力を入れて取り組んでまいり所存であります。

このため、本年は、第2常磐線構想や首都圏中央連絡道の早期実現、常陸那珂港や常陸海浜公園を中核とする射爆場跡地利用の促進、鹿島線沿線地域の開発・整備、北関東横断道路の早期建設、優良企業の導入、グリーンピア構想の具体化などを重点的に進めてまいります。

また、高齢化社会の到来に適切に対応するための医療や福祉の充実、教育・文化の振興、バイオテクノロジーを活用した新しい農業の展開、商工業の振興、新しいコミュニティづくりなど県民の生活を高める施策についても、さらに力を入れて取り組んでまいります。

本年も、依然として厳しい財政状況にあります。私は、行財政の簡素効率化をさらに進める中で、郷土の発展と県民福祉の向上のため、全力投球する決意であります。

今後とも、皆様方の力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新年のごあいさつ



茨城県企画部長
茨城県統計協会会長

小 鷺 茂

新年明けましておめでとうございます。

昭和60年の新春を迎えるにあたり、皆様方のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げますとともに、日頃統計行政にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

今春、3月17日から6ヵ月間、20世紀における今世紀最後の祭典ともいふべき「国際科学技術博覧会」が、筑波研究学園都市において開催されます。現代は科学技術の時代、世界各国による先端テクノロジーの競演会が今行われようとしています。本県では、これを契機として世界に開かれた豊かで住みよい茨城づくりをさらに前進させようとしています。

一方、輝かしい21世紀の茨城の未来を切り開くような県土づくりを進めるという観点から、昭和61年度を初年度として、昭和65年度を目標年次とする新しい5ヵ年計画を策定中であります。この計画は、今後、県が当面する国際化、高齢化、高度技術化社会に対応するための行政計画であるとともに、県民の参加と協力を得て県政を進める指針を明らかにするものです。この計画策定に当たっては、県勢の動向等を把握するために、数多くの統計データが基礎資料として使われております。この現状をみましても、統計データの重要性、さらには統計調査そのものの重要性が皆様にも十分お分かりになっていただけることと思います。

近年における我が国の社会経済情勢は、複雑多様化してきており、これに伴って統計情報に対する住民のニーズがますます高まっています。この要因として、社会経済の推移、現状、動向を適時的確に把握するために必要な統計が不足していることを指摘されたり、また、近年著しい発展をみた情報処理技術の進展に対して統計の範囲も再検討が余儀なくされていること等が挙げられます。

そこで、県としましては調査対象の負担軽減やプライバシーの保護等、統計調査環境の改善はもちろんのこと、情報量確保のための統計データの相互利用、データ・ベースの充実化、さらには小地域統計の整備拡充、加工統計の積極的な活用を推進していく所存です。特に統計の利活用については、重要な課題ですので、現在も利用者の立場に立って、時代の要請に応えるべく鋭意努力中であります。

この具体的実施内容の一つに幅広い統計情報の提供があります。最近、OA(オフィスオートメーション)化が叫ばれ、事務処理合理化や行政サービスの向上を図る意味からも情報処理機器であるパソコン等の利用が年々重要視されてきております。

部内では昨年、統計課に初めてパソコンが設置され、簡単な作表やグラフ作成はもちろんのこと、各種基礎データの蓄積や分析に活用しております。これからも、この機動性を十分生かした幅広い統計情報の提供を推進していきたいと考えております。

もう一つには統計の行政サービス機能の充実強化です。統計利用者へのサービスについても一層充実させることが望まれていますので、広範な統計資料の収集と提供、各種統計相談の対応等統計資料に対するニーズにも的確に応えられるよう「行政資料室」等サービス機能についても充実強化を図ってきたいと考えております。

今年は、国勢調査、商業統計調査、農業センサス等大規模統計調査が次々と行われる予定です。どうか皆様方におかれましても、統計の果たす役割とその使命をもう一度再認識され、本県統計事業発展のため邁進されますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

応募点数 実に11,922点!

茨城県コンクールの部

- (1) 主催 茨城県, 茨城県教育委員会, 茨城県統計協会
 (2) 後援 茨城新聞社
 (3) 部門別応募資格
- 第1部 小学校3年生以下の児童
 - 第2部 小学校4年生以上の児童
 - 第3部 中学校の生徒
 - 第4部 高等学校の生徒
 - 第5部 一般

最近5年間の応募状況

部門別 年度別	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部	計
55	1,480	2,103	927	2	5	4,517
56	1,946	2,723	630	0	7	5,306
57	2,639	3,779	843	0	7	7,268
58	3,617	5,063	2,543	1	6	11,230
59	3,922	5,857	2,136	1	6	11,922

(4) 実施日程

- 昭和59年6月13日 作品募集開始
 9月8日 応募締め切り
 9月7日～8日 地区審査会
 9月10日 第1次県審査会
 9月11日 第2次県審査会
 9月17日 第32回全国コンクールへ出品
 10月18日 第26回県統計大会において入選者の表彰と作品の展示

(5) 審査結果

第1部から第3部については、教育事務所単位に行なわれた地区審査会において入選した作品、第4部及び第5部についてはすべての作品について県審査が行なわれ、各賞別の入選点数は右記のとおりとなりました。

部門別 賞区分	1部	2部	3部	4部	5部	計
知事賞	1	1	1		1	4
県議会議長賞	1	1	1		1	4
県教育長賞	3	3	3			9
県統計協会総裁賞	5	5	5	1	1	17
茨城新聞社長賞	1	1	1			3
県統計協会会長賞	10	10	10		2	32
佳作(企画部長賞)	129	129	109			357
地区審査会佳作	25	25	20			70
優秀校賞		10	5			15
奨励校賞		32	7			39

(6) 表彰

入選作品(佳作を除く)については、10月18日の統計の日に水戸市民会館において行なわれた、第26回茨城県統計大会の席上竹内副知事などから賞状及び副賞品が授与されました。

また受賞者を代表して水戸市立石川小学校2年生の諏訪原規子さんが可愛らしい姿で堂々と喜びのこぼしをのべて、満場の拍手をうけました。

なお審査員の先生方を代表して、県教育庁指導主事の堀田先生から次のような選評をいただきました。

<選評>

全体的なことで

まず特筆されるのが応募作品が11,922点にもものぼったということである。昨年の11,230点をさらに上回り「統計思想の普及向上と統計の表現技術の研さんに資する」という、この統計グラフコンクールの目的が着実に達成されつつあると言えよう。

応募作品の多さと共に、力作が非常に多く、入賞作品を選出する上で大変に苦労した。また、各地区・学校の差が極めて接近し、入選した作品も例年になく広範囲の学校に散らばった。これまた大変に喜ばしいことである。

昭和59年度統計グラフコンクール

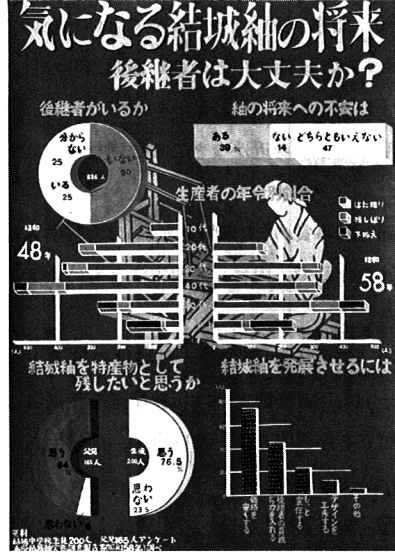
知事賞受賞作品

《第1部》



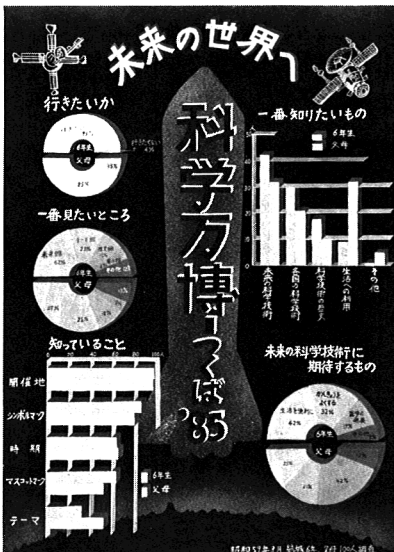
北浦村立小貫小学校 1年
松本恵美子

《第3部》



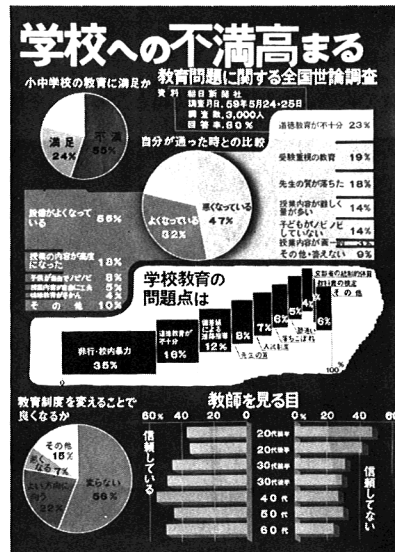
結城市立結城中学校 1年
上野澄恵・高野真希・館野典子

《第2部》



結城市立結城小学校 6年
稲葉健二郎・森山健二・井上裕司

《第5部》



西茨城郡友部町大田町
稲野辺敏明

作品の傾向として、科学万博やオリンピック、エリマキトカゲなど身近かなことに対する児童生徒の関心が伺われた。優秀作品について

第1部 知事賞の「はやくはやくといわないで、おかあさん」は、日常生活の中での鋭い着眼ぶりが目立った。議長賞の「おとうさん、おねがいきいてね!」も同様であるが、低学年らしい身近かなところに素材を求めた点が立派であった。

第2部 知事賞の「未来の世界へ」は、科学万博への夢を結び付けた作品で、内容、表現方法ともにすばらしい作品であった。

第3部 知事賞の「気になる結城紬の将来—後継者は大丈夫か—」は、結城紬という伝統産業を後継者に焦点を当てて問題点を浮き彫りにした内容で、中学生らしい、すばらしい作品であった。

第5部 知事賞の「学校への不満高まる」・議長賞の「いま夫婦のきずなどは……」は、いずれも本コンクールに何回も優秀賞を受けているベテランの作品で、色彩、レイアウト、レタリング等のいずれをとっても申し分のないすばらしい作品であった。

今後の作成に当って

審査会で次のようなことが問題となった。今後の作成に



知事賞受賞者を代表して賞状を受ける
北浦村立小貫小・松本恵美子さん

受賞の喜びをのべる
水戸市立石川小・諏訪原規子さん



当って配慮してほしいと思う。

- (1) 完成後もう一度見直しをしたい。特に、グラフ軸の原点の0の欠落、円グラフでの総数の表示、棒グラフを立体化した場合の目盛線との関係などに十分留意してほしい。
- (2) あまり技法にこだわりすぎないこと。例えば、折れ線グラフを立体化したり、円グラフをだ円形や馬てい形にすると、どうしても正確さや見やすさが損なわれる傾向にある。
- (3) 絵グラフをのり付けしたり、台紙とグラフの絵の具が異なる材質の場合、はく落するケースが目立った。
- (4) 統計表は、特に百分率で表示する場合、実数も必ず記入するようにしたい。



統計大会の会場内に展示された優秀作品の数々

茨城県統計グラフコンクール入選者

茨城県知事賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	はやくはやくといわないで おかあさん	松本恵美子	1	北浦村立小貫小学校
2	未来の世界へ	稲葉健二郎	6	結城市立結城小学校
3	気になる結城袖の将来 後継者は大丈夫か？	井上裕司	6	"
		森山健二	6	"
		上野澄恵	1	結城市立結城中学校
5	学校への不満高まる	館野典子	1	"
		高野真希	1	"
		稲野辺敏明	公務員	西・友部町大田町1065-2

茨城県議会議長賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	おとうさん おねがい書いてね!	飯田 聡	2	岩井市立七重小学校
		柏木弘嘉	2	"
2	寒さに弱い現代っ子	岩瀬利治	6	新治村立山の荘小学校
3	いま学校生活の中で	吉川孝子	2	結城市立結城南中学校
5	いま夫婦のきずなどは……	高野沢由喜	2	"
		青木勇一	公務員	西・友部町小原2094-2

茨城県教育長賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	みんなてべたいなあ ゆうごはん	中井昌一	1	水戸市立笠原小学校
1	口をあけてあるく人って 多いんだね	諏訪原規子	2	水戸市立石川小学校
1	ニコニコお父さん プンプンお母さん	澤田マキ	2	総和町立小堤小学校
		小笠原智子	2	"
		前田美奈子	2	"
2	私達の要求するものは (6年生と1年生のちがひ)	八野 恵美	6	日立市立水木小学校

表 つづく

表 つづき

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
2	いよいよ開催科学万博	阿久津宏美	6	結城市立結城小学校
		山室朋子	6	"
		小沢ちか子	6	"
2	校庭はけが人続出	紫村久美子	6	牛堀町立牛堀第一小学校
3	激増する女子非行	永井吉則	1	結城市立結城南中学校
		豊口 聡	1	"
		山口 聡	1	"
		永木裕重	1	"
3	政治無関心病	藤井郁子	3	日立市立多賀中学校
3	大気汚染はいま……	大嶋 剛	3	結城市立結城南中学校
		氏家一幸	3	"
		海老沢 誠	3	"
		梅沢謙一	3	"

茨城県統計協会総裁賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	なつやすみ なにしてあそんだの	中井川洋平	1	土浦市立土浦小学校
1	とびだしにちゅうい	藤井 舞	1	小川町立小川小学校
		佐藤文緒	1	"
		伊能永子	1	"
1	こんなことしてあげたいな けいろうの日	加藤直子	1	鹿島町立三笠小学校
		鳥海勝之	1	"
		高風和代	1	"
1	はくと わたしの おこづかい	岡野多加志	3	土浦市立土浦小学校
1	病氣しないでお母さん	石崎香緒里	3	結城市立江川南小学校
		石崎智可	3	"
2	粉せっけんを! とは言うけれど	林 純子	5	土浦市立神立小学校
2	気になる席がえ	駒井真樹	5	"
		森崎友男	5	"
		萩原浩樹	5	"

表 次頁へつづく

表 つづき

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
2	ねむっている参考書	加藤 智子	5	結城市立結城小学校
		細川 愛香	5	"
		山本 薫	5	"
2	男の子・女の子 今度生まれるとしたら	小林 美紀	6	岩井市立弓馬田小学校
		張替 聡子	6	"
2	シートベルト着けてよ お父さん	荒木 希	6	結城市立城南小学校
		坪山 温子	6	"
		村山 洋子	6	"
3	広まる国際交流	大越 澄恵	2	北茨城市立磯原中学校
3	ふやしたい都市公園	谷田貝華水	2	結城市立結城中学校
		寛 ひとみ	2	"
		松本 美咲	2	"
3	中学生と塾 ＝その必要性は＝	平出 真弓	3	竜ヶ崎市立城南中学校
		斉藤 みどり	3	"
		飯田 真理子	3	岩井市立岩井中学校
3	最後まで使って/ わかっていても使えない	岡田 英理	3	"
		飛田 晴美	3	関城町立関城中学校
		藤倉 芳子	3	"
3	揺れる中学生の心	川合 佐織	3	"
		大内 順子	1	土浦日本大学高等学校
		川村 香	1	土浦工業高等学校
4	まだまだ足りない 障害への理解	菅原 裕子	1	土浦第二高等学校
		椿 亜弓	1	"
		豊田 貴和	1	"
5	テレビ王国日本の現状	会 沢 勉	公務員	水戸市酒門町4558-5

茨城新聞社長賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	ねえ、もっと遊ばせて!	田中麻紀子	3	結城市立結城小学校
		五十畑 こそ恵	3	"
2	生きもの 大すき	飯村 文人	4	筑波町立菅間小学校
3	どうして村に残らないの	鴨志田 康人	1	水府村立水府中学校

茨城県統計協会会長賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	ほくらのオリンピック	池田 英徳	1	結城市立江川北小学校
		高橋 奏子	1	"
1	ほめられてうれしかったよ	菅谷 ともみ	1	玉造町立現原小学校
1	すきなおやつ	平内 克憲	1	鹿島町立平井小学校
		西 純一	1	"
		沢 畑 幸恵	1	"
1	ほしいなー エリマキトカゲ	鈴木 宏幸	2	日立市立大久保小学校
		作山 真由美	2	"
1	あつかった夏休み 海やプールが1ばん	斉藤 恭子	2	笠間市立稲田小学校

統計グラフ全国コンクールの部

応募点数、入選点数とも本県がトップを占める!

全国コンクールには、県審査において特に優秀と認められた作品について、21点を出品しました。

全国の応募作品70,350点のうち、実に16.9%を本県が占めており、入選点数も130点のうち本県が12点とトップの成績でした。

入選作品については10月30日京都市において開催された第35回全国統計大会に展示され一般に公開されました。

なお本県の入選状況は下記のとおりです。

入選状況

部門別	入 選	佳 作	計
1	1 点(8席)	1 点	2 点
2	1 点(3席)	3 点	4 点
3	1 点(1席)	2 点	3 点
5	2 点(3席 8席)	1 点	3 点
計	5 点	7 点	12 点

(統計課・統計指導グループ)

喜びに満ち溢れた 昭和59年度茨城県功績者表彰

去る11月22日(木)、昭和59年度茨城県功績者に対する表彰が茨城県公館において行われ、知事から各界の功績者25名に対して表彰状と記念品が贈られました。

この功績者表彰は、長年にわたりひたすら社会の進歩発展に尽力し著しい功績が認められた者に対して贈られるものであり、特に県の行政の伸展に寄与しその事績が県民の模範であり、かつ県民又は地域住民から敬愛されている方々が対象となっております。

昭和31年に創設されたこの功績者表彰は、「県民の日」(11月13日)の行事の一環として毎年行われており、これまで18名の統計調査員の方が受賞しております。

今年度は、地方自治の分野における統計功労者として次の2名の方が栄えある表彰を受けられました。

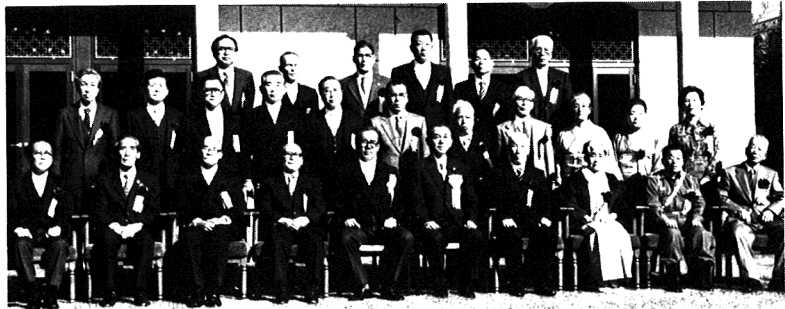
- 下館市統計調査員 榎戸金次氏
- 八郷町統計調査員 長谷川要氏

両氏は、長年統計調査員として国勢調査をはじめ茨城県農業基本調査など各種の統計調査に従事し、統計調査のもつ社会的意義と重要性を十分に認識して、迅速かつ正確性に努め優秀な成績を取るとともに、長年にわたる統計調査員の経験とおう盛な研究心をもって統計調査内容の疑義を正すなど他統計調査員の模範であり、統計調査業務を通して県政の発展に寄与した功績は大きなものがあります。

また、地域にあっては民生委員又は森林組合理事など多くの役職を歴任し、豊富な社会経験から生ずる卓越した識見と信念に基づきその重責を十分に果たしており、地域住民の信望を集めております。これらのことが高く評価され今回の功績者表彰の受賞となっております。心よりお祝い



知事を囲んで：右から小鷲企画部長、長谷川氏、竹内県知事、榎戸氏、大友統計課長



栄えある受賞者の面々
栄誉を称える竹内県知事、武藤県議会議長(前列中央左・右)

申し上げます。

本年は、農業センサス、商業統計調査、国勢調査と大規模調査がめじろ押しに行われることとなり、県・市町村はもとより統計調査の第一線で活動される統計調査員の皆様の業務負担は相当なものであらうと予想されます。特に国勢調査は、簡易調査とはいえわが国の人口の実態を総合的には握し、各種行政施策その他の基礎資料を提供する極めて重要な意義をもつものであり、県としては調査の円滑かつ効率的な実施を図るべく準備作業を進めておるところです。

調査の実施にあたっては、プライバシー保護の問題をはじめとして、調査拒否、非協力事業所等厳しい調査環境が想定されますが、県・市町村・統計調査員の皆様が一体となり、相互協力体制を整えながら遂行して行きたいと考えております。どうか忌憚のない御意見をお寄せいただきたいと存じます。

茨城県功績者表彰受賞者一覧

年度	市町村名	受賞者名	年度	市町村名	受賞者名
38	岩井市	中山卯一郎	51	常北町	田口勝之介
39	筑波町	鮭川清	52	岩瀬町	榎戸直一郎
40	波崎町	名雪定一	53	茨城町	齋藤義雄
42	土浦市	小松英一	54	下館市	小島誠一郎
44	下館市	廣瀬良一郎	56	八千代町	水書忠重
47	古河市	長浜昌一	57	日立市	沼田利祥
48	友部町	藤井由助	七会村	近澤勇	
49	下館市	菊池貞治	58	那珂町	武藤勝一
50	緒川村	大竹市之介	東村	水飼明定	

(統計課・統計指導グループ)